

Spyder Software User Guide

(Version 1.0)

Table of Contents

機器仕様	3
紹介	4
箱の中は何ですか	4
システム要件	4
ソフトウェアのダウンロードとアクティベーション	4
始める前に	5
WELCOME	6
WORKFLOW	7
ディスプレイキャリブレーション	8
ディスプレイ設定	8
キャリブレーション設定	9
キャリブレーションタイプ	9
キャリブレーション(FULLCAL および RECAL)	11
プロファイルの保存	13
チェック	14
SPYDERPROOF	15
プロファイルの概要	16
ディスプレイ解析	17
デバイスレビュー	19
SPYDER ユーティリティ	21
プロファイル管理ツール	21
1-クリックキャリブレーション	23
APPENDIX	24

機器仕様



電源要件	5V DC、100 mA、パソコンに接続されたUSBコネクタ経由
寸法	幅: 44.8 mm 高さ: 76.0 mm 長さ: 79.1 mm 重さ: 140g
環境要件	動作温度: 5°C〜40°C 最大相対湿度: 31°Cまでの温度で80%、40°Cで相対湿度50%まで直線的に低下 最大高度: 2,000メートル
エージェンシーコンプライアンス	SGS、CSA、C-Tick、CE

この製品は、製造元の指定に従って、ここに記載されている操作および保守の指示に従ってのみ使用する必要があります。製造元が指定していない方法で使用すると、デバイスの保護が損なわれる可能性があります。

本社:
株式会社データカラー
5 プリンセスロード
ニュージャージー州ローレン
スビル 08648

製造施設:
データカラー蘇州
288 Shengpu Road (勝浦路)
江蘇省蘇州市
中華人民共和国 中国 215021

紹介

新しい Spyder モニターキャリブレーターをお買い上げいただきありがとうございます。このドキュメントでは、Spyder ソフトウェアを使用して、ディスプレイから最も正確な色を取得する方法について説明します。

箱の中は何ですか

スパイダーセンサー

シリアル番号

ソフトウェアとサポートリソースへのリンクを含むウェルカムカード

USB-A アダプター

システム要件

Windows 10 32/64、Windows 11

macOS 10.14 (Mojave) - macOS 26 (Tahoe)

モニター解像度 1280x768 以上、16 ビット ビデオ カード (24 ビット推奨)、1 GB
の使用可能な RAM、500 MB の使用可能なハードディスク

ソフトウェアダウンロード用のインターネット接続

USB-CまたはUSB-Aポート

ソフトウェアのダウンロードとアクティベーション

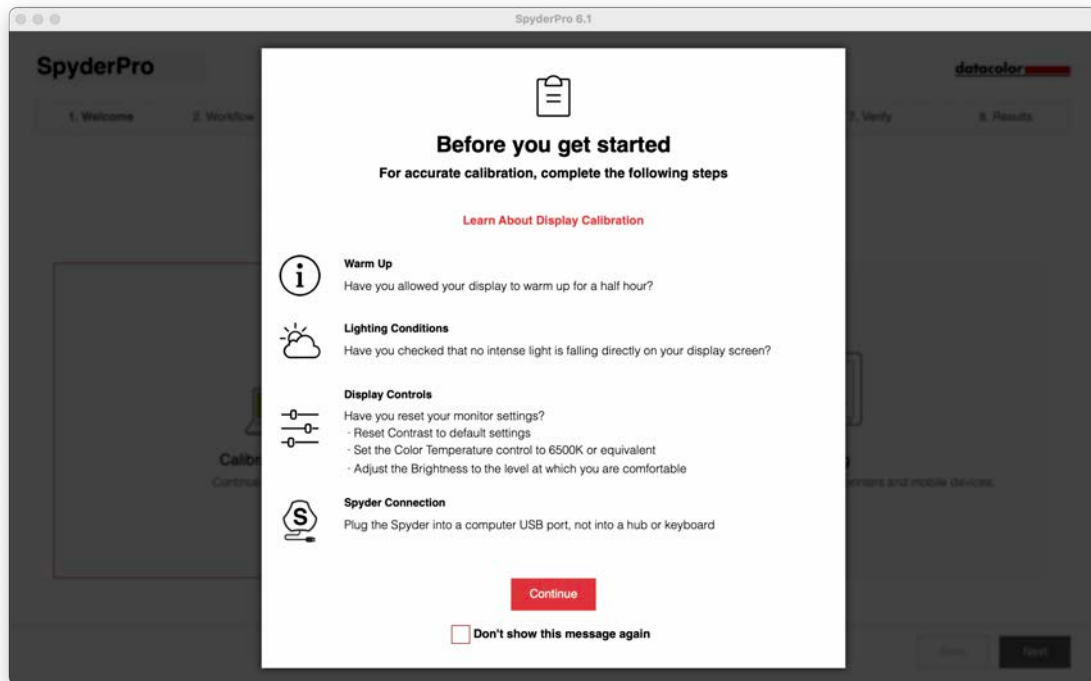
<http://goto.datacolor.com/getspyder> からソフトウェアをダウンロード し、ファイルを開いてインストールします。

Spyder をコンピュータの直接ポート(キーボード、モニター、ハブ、または延長ケーブルではなく)に接続します。コンピュータに USB-C ポートがない場合は、付属の USB-A アダプタを使用してください。このケーブルは、Spyder とコンピュータ間の電源と通信を提供します。

Spyder アプリケーションを開き、プロンプトに従ってソフトウェアをアクティブ化します。

注:シリアル番号は、センサーの下スパイダーボックスにあります。
ライセンスコードは、アクティベーション後に提供されます。紛失したライセンスコードを回復するには、Datacolor Spyder サポートにお問い合わせください。

始める前に



最初の画面には、最良の結果を達成するためにディスプレイと環境を設定するための情報が表示されます。

ウォームアップ

キャリブレーションの前に、ディスプレイを少なくとも 30 分間オンにする必要があります。

照明条件

キャリブレーションに悪影響を与える可能性があるため、ディスプレイに直射光が当たらないようにしてください。

ディスプレイコントロール

ディスプレイのコントロールをデフォルト設定にリセットします(可能な場合)。HDR、自動明るさ、およびディスプレイの外観を自動的に変更するその他の動的機能を無効にします。

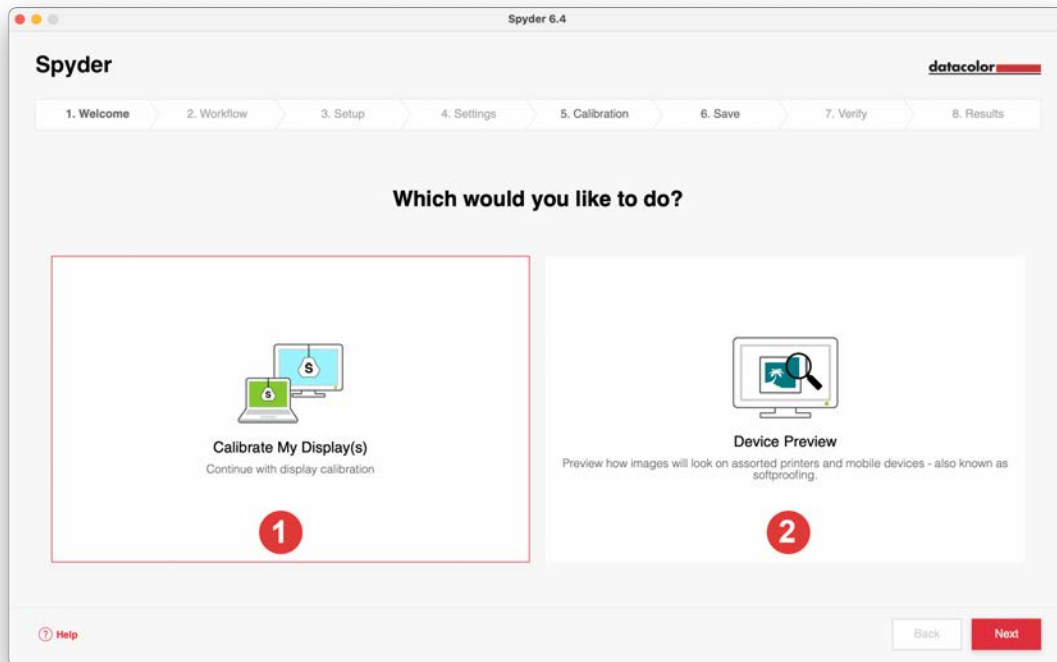
スパイダー接続

Spyder をコンピュータの USB ポートに直接接続します。キーボード、モニター、ハブ、または延長ケーブルポートを使用すると、デバイスが適切なデータフローを取得できなくなる可能性があるため、使用しないでください。

これらの手順を完了したら、[続行] をクリックします。

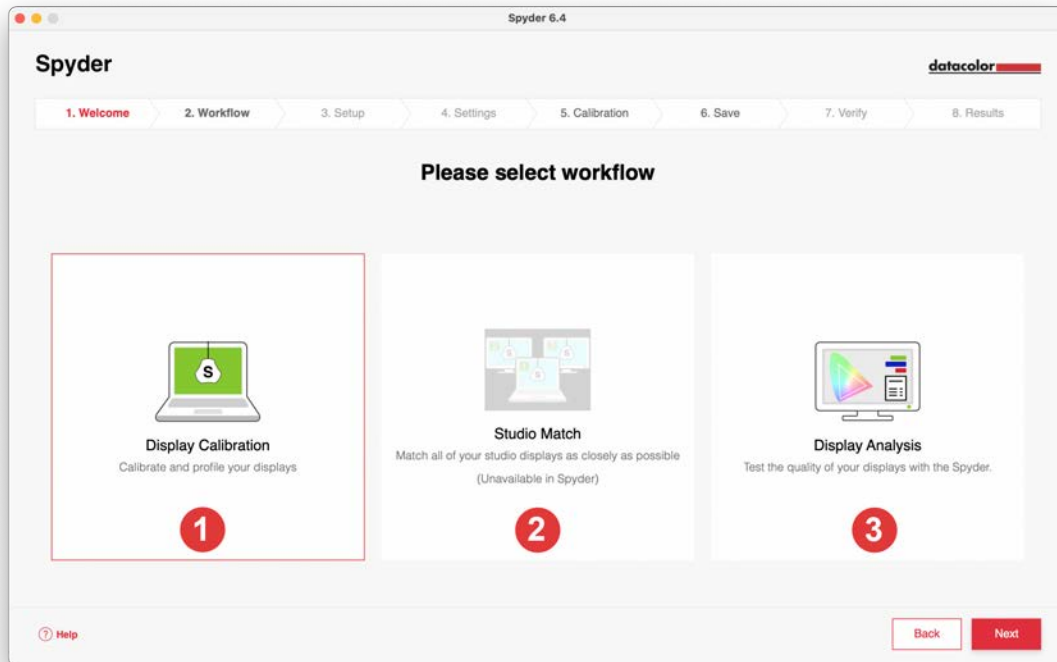
Welcome

[マイディスプレイの調整] (1) または [デバイスプレビュー] (2) から選択します。選択内容をクリックし、[次へ] をクリックします。



Workflow

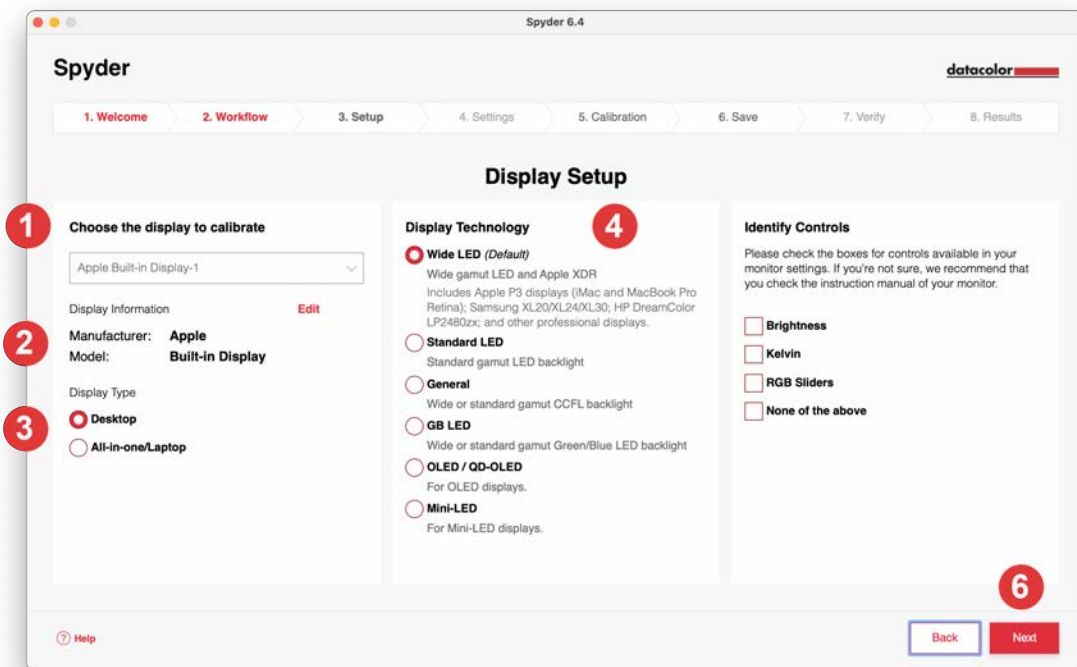
ワークフローを選択します:ディスプレイキャリブレーション**(1)**、スタジオマッチ(SpyderPro のみ)**(2)**、またはディスプレイ分析**(3)**。選択内容をクリックし、[次へ] をクリックします。



ディスプレイキャリブレーション

ディスプレイ設定

コンピューターに複数のディスプレイが接続されている場合は、ドロップダウンメニュー(1)からキャリブレーションするディスプレイを選択します。ソフトウェアは自動的に選択したディスプレイに移動します。ソフトウェアウィンドウを別のディスプレイにドラッグしないでください。



表示情報(2)が正しいことを確認してください。そうでない場合は、[編集] をクリックして情報を変更します。

ディスプレイタイプ(3)が正しいことを確認します。表示されていない場合は、キャリブレーションするディスプレイの正しい記述子をクリックします。

モニターに最も適したディスプレイテクノロジー(4)を選択します。各オプションをクリックすると、各バックライトの種類の詳細な説明が表示されます。

[Identity]を選択し、(5)モニターの調整に使用できるコントロールを選択するか、[上記のいずれもない]を選択します。

必要な選択をすべて行ったら、次へ(6)をクリックします。

キャリブレーション設定

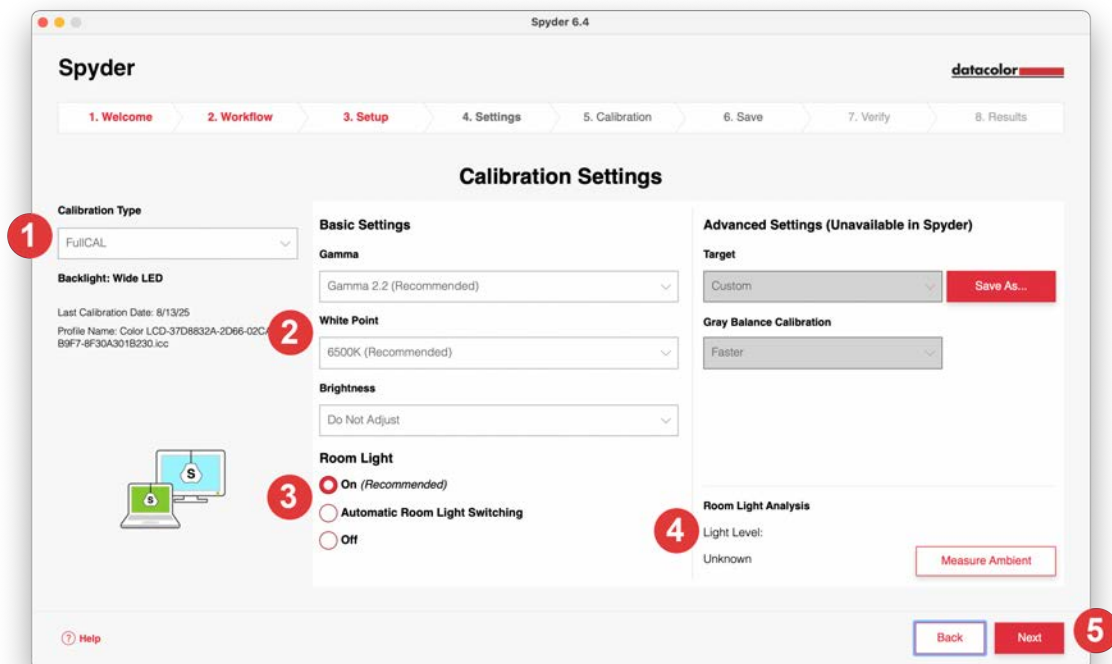
キャリブレーションタイプ

このディスプレイを初めてキャリブレーションする場合は、自動的に[フルキャリブレーション]が選択されます。後続のキャリブレーションでは、**FullCAL**、**ReCAL**、または **CheckCAL** のいずれかを選択できます。

FullCAL (フルキャリブレーション)は、パッチ測定の一連のシーケンス全体を使用して画面をキャリブレーションします。

ReCAL(再キャリブレーション)は、パッチ測定の一部のシーケンスを使用して、以前に作成した **FullCAL** を更新します。

CheckCAL (チェックキャリブレーション)は、現在のキャリブレーションの精度を評価します。



ドロップダウンメニュー(2)からガンマ、ホワイトポイント、明るさの設定を選択するか、その他を選択して独自の値を入力します。(推奨)としてリストされている設定は、ほとんどのワークフローで最も一般的に使用されます。

部屋の照明(3)を測定して、部屋の照明レベルに基づいてディスプレイの明るさを設定するかどうかを選択します。[オン]を選択すると、部屋の照明レベルの変化が検出されたときに通知が表示されます。自動室内照明切り替え*を選択する

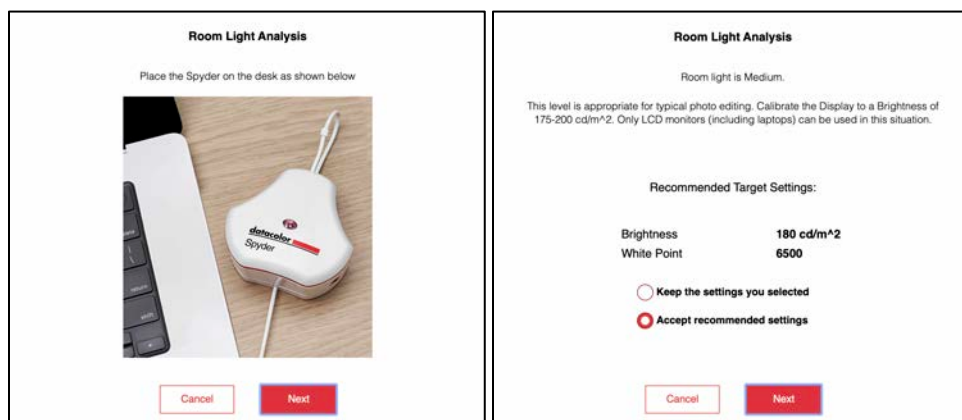
と、複数のプロファイルが作成され、室内の照明レベルの変化が検出されるとソフトウェアが自動的に変更します。

どちらのオプションでも、光の変化を検出するには、**Spyder**センサーをコンピュータに接続する必要があります。

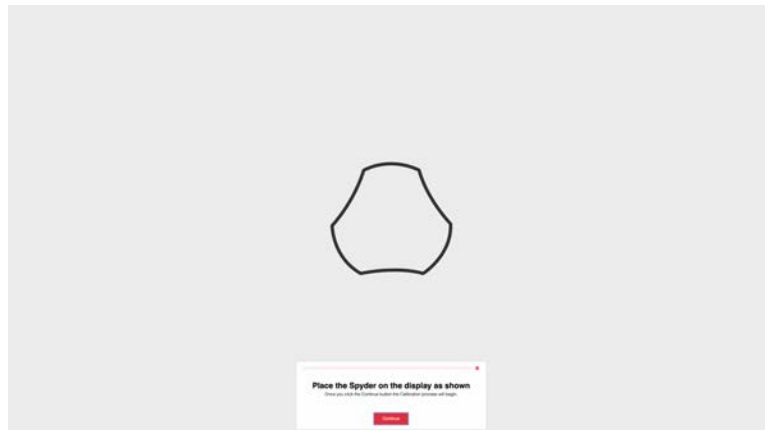
また、ルームライト解析(4)を使用して、現在の周囲の照明を測定するオプションもあります。

選択が完了したら、[次へ] をクリックします (5)。

ルームライト-オン(前の画面)を選択した場合、ソフトウェアはルームライトを読み取ります。**Spyder** を机の上に置き、ディスプレイや **Spyder** に直射光が当たらないようにします。[次へ]をクリックして、この測定値に基づいて推奨されるターゲット設定の現在の環境光を測定します。前の画面で選択した設定を保持するか、これらの推奨設定を受け入れるかを選択します。[次へ] をクリックします。



キャリブレーション(FullCAL および ReCAL)



プロンプトに従って、**Spyder** を画面に配置します。センサーカバーを取り外します。キャリブレーターが所定の位置に留まり、スクリーンに対して平らになるようにカウンターウェイトとして使用されます。

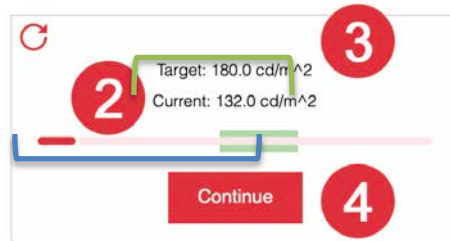
ディスプレイを所定の位置に保持することなく、ユニットがアウトライン内で画面に寄りかかるように、ディスプレイを少し後ろに傾けることをお勧めします。**[続行]/[次へ]**をクリックします。一連のカラーパッチが画面上で点滅します。

基本設定で明るさの調整を選択した場合、キャリブレーションプロセスでは、ディスプレイを推奨レベル内に調整するように求められます。



調整。明るさの値はデフォルトでリアルタイムで調整されますが、**アップデート (1)**ボタンをクリックして、ソフトウェアに再測定を促すことができます。**現在 (2)**の値が**ターゲット (3)**の値にできるだけ近くなるまで、このプロセスを繰り返します。

※ディスプレイがターゲット範囲内に収まらない場合があります。できるだけ近づくように調整してください。



調整が完了したら、**続行(4)**をクリックします。
キャリブレーション測定が完了したら、**[完了]**をクリックします。

プロファイルの保存

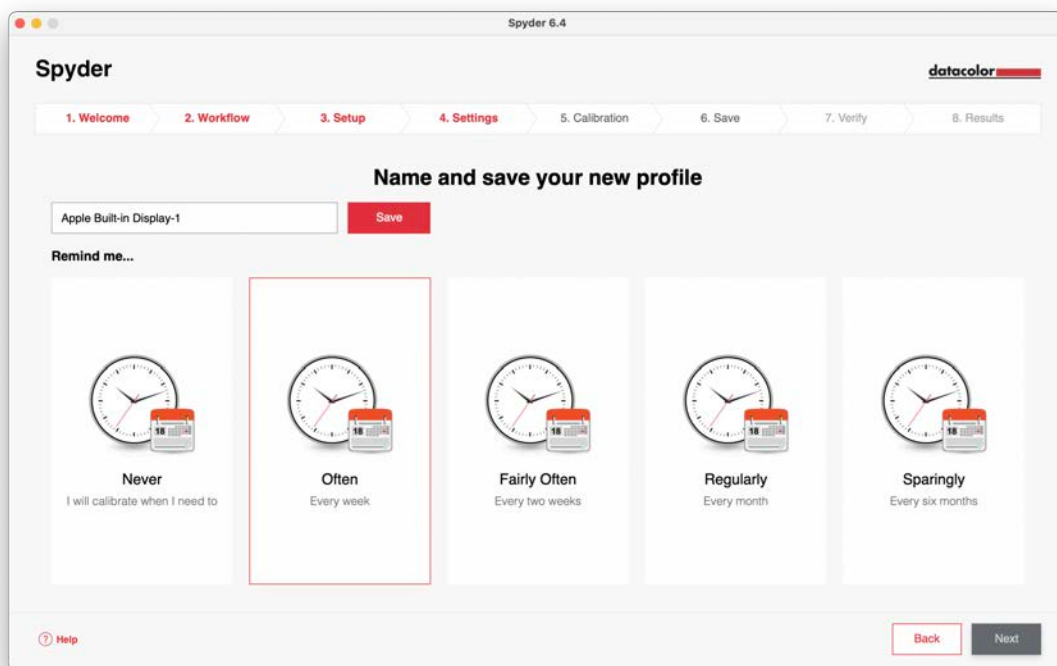
デフォルトを使用するか、独自のプロファイル名を作成します。モニタープロファイルのアーカイブを保持するのに最適であると思われるサンプルファイル名を次に示します。

「Make_Model_yyyymmdd(日付)_ver1」

ディスプレイを再調整するタイミングのリマインダーを設定することもできますが、デフォルトのリマインダーは2週間です。

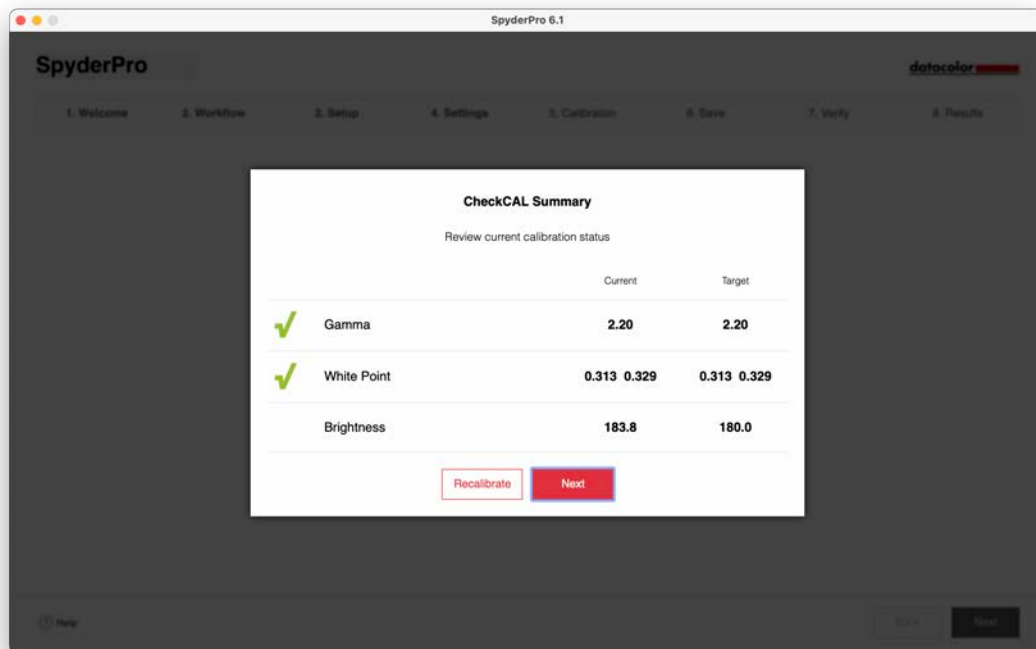
色が重要な作業に使用されるディスプレイは、少なくとも2週間ごとに調整することをお勧めします。ただし、色が正確で、モニター設定が環境に対して正しいことを確認するために、色が重要な作業を実行する前にキャリブレーションを行うことをお勧めします。または、CheckCal を使用して校正を確認することを検討してください。

[保存]、[次へ] の順にクリックします。



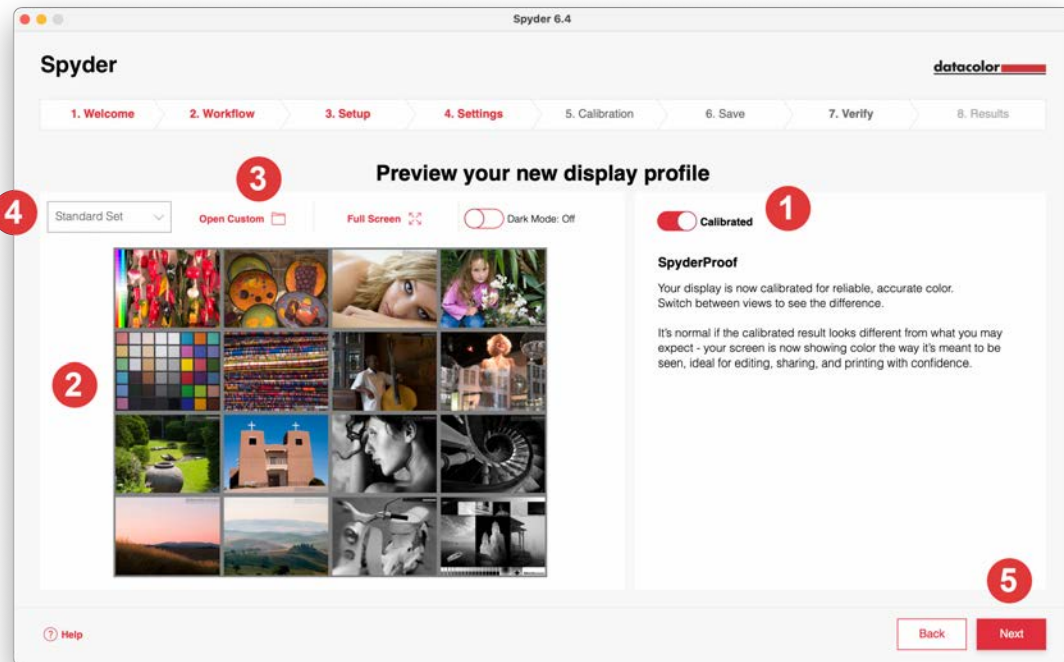
チェック

CheckCAL を使用すると、ディスプレイにキャリブレーションが必要かどうかをすばやく確認できます。プロンプトに従って **Spyder** を画面に配置し、小さなカラーパッチのセットを測定します。完了すると、現在の設定が目標設定と一致するかどうかを確認するレポートが生成されます。緑色のチェックマークは合格を示し、赤色の X マークは許容範囲外の値を示し、再校正をお勧めします。選択をクリックして再調整するか、[次へ]に進みます。



SpyderProof

トグルをクリックして、キャリブレーション済みビューと未キャリブレーション(1)ビューで画像を比較し、キャリブレーション結果を確認します。



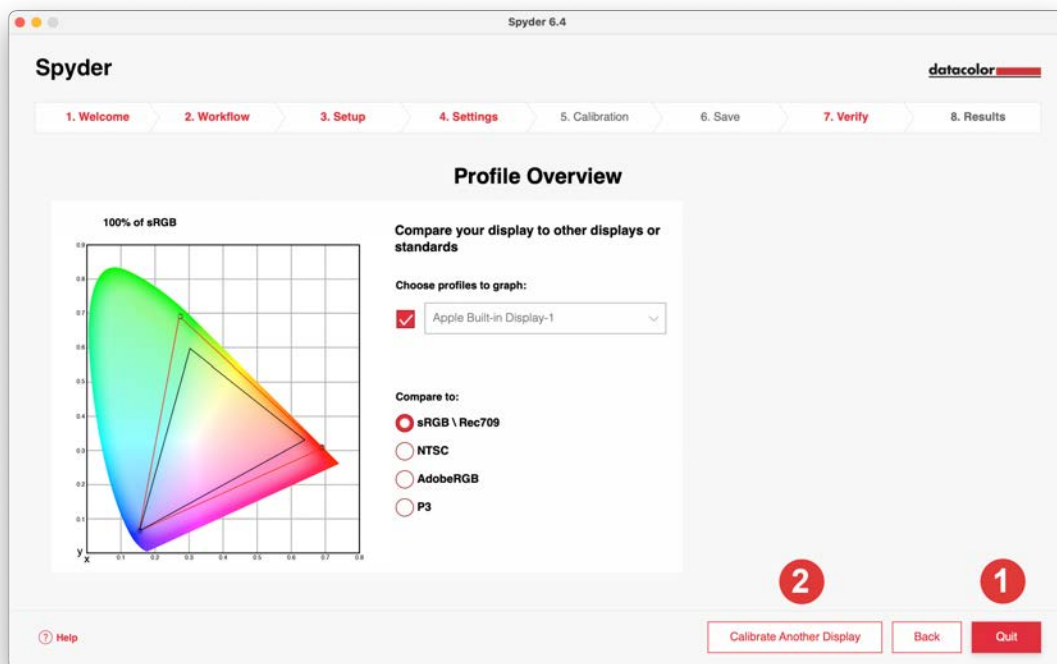
画像をクリックすると拡大して詳細を確認できます。

クリック **カスタムを開く (3)** レビューするコンピューター ファイルから.tiff または.jpeg 画像を選択します。

ドロップダウンメニュー(4)から選択して、標準セット画像またはカスタム画像を切り替えます。

プロファイルの概要

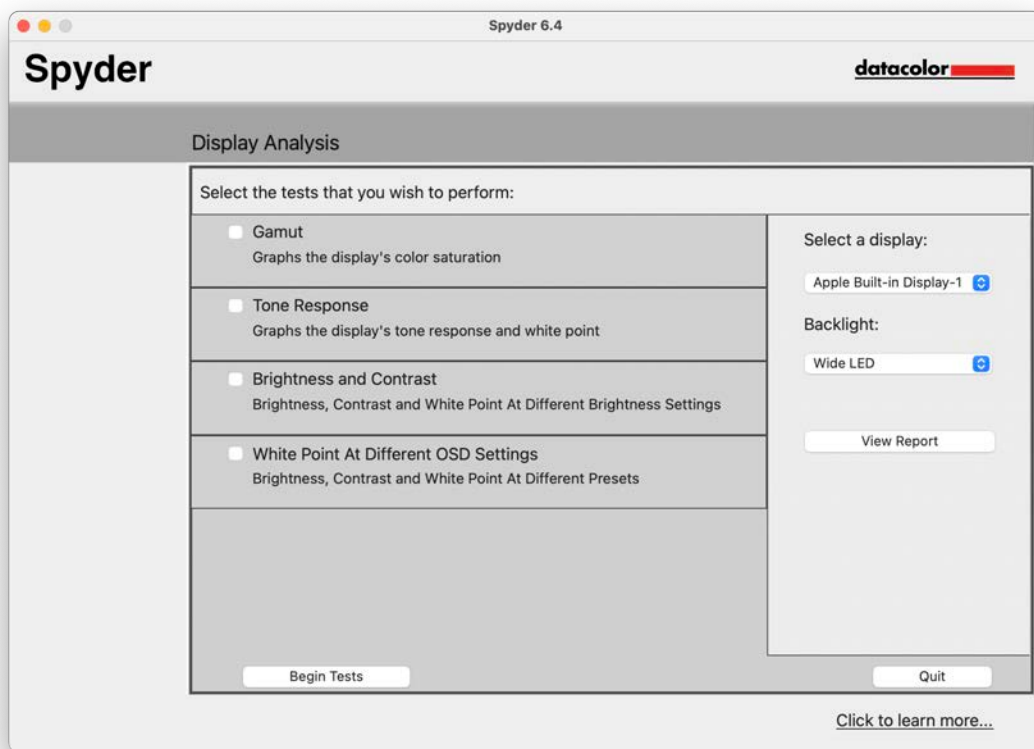
ディスプレイの色域を表示し、以前に作成した業界標準やプロファイルと比較します。



キャリブレーションが完了している場合は**終了(1)**をクリックし、キャリブレーションする別のディスプレイがこのコンピューターに接続されている場合は、別のディスプレイのキャリブレーション**(2)**をクリックします。

ディスプレイ解析

モニターで一連の 6 つのテストを実行して、モニターの長所と短所を確認します。



実行するテストを選択し、**[テストの開始]** をクリックします。画面の指示に従ってセンサーを配置し、ディスプレイの明るさを変更します。

注記: 色精度以外のすべてのテストは、現在のディスプレイプロファイルを無効にして実行され、キャリブレーションされていない状態でのディスプレイの動作を示します。

明るさとコントラストのテストを実行する場合、テストの最初の部分では、ディスプレイの明るさを 0% に設定する必要があります。**[測定]** をクリックすると、テストの実行に約 10 秒かかります。画面が完全に暗くなるため、テストが完了したかどうかはわかりにくくなりますので、10 秒ほど待ってから明るさを上げて続行してください。

テストが終了したら、**[レポートの表示]** を選択して、選択したすべてのテストの結果を確認します。

デバイスプレビュー

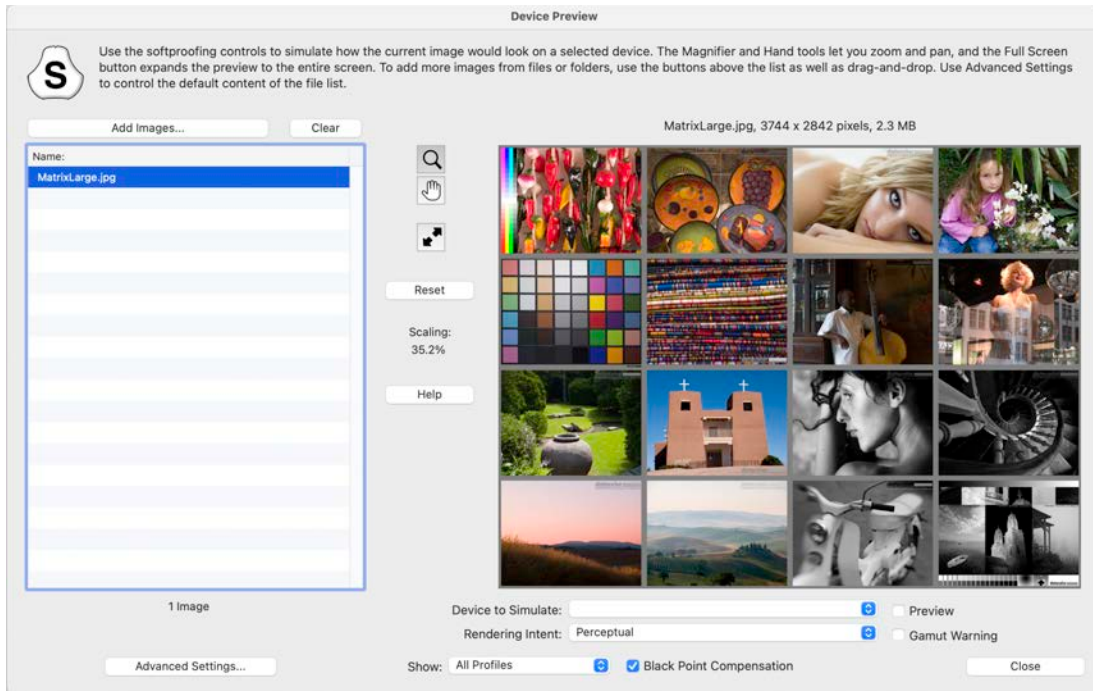
このツールのワークフローを使用して、画面と出力のマッチングを改善し、印刷物やデバイス(家庭用プリンター、オンラインプリンター、小売プリンター、特定のモバイル/タブレットデバイスなど)で写真がどのように見えるかをシミュレートします。

家庭用プリンターを使用している場合は、コンピューターに **ICC** プロファイルが既にインストールされている可能性があります。プリンタをプロファイリングしておらず、プロファイリングしたい場合は、**Spyder Print** 製品の使用をお勧めします。

小売またはオンライン印刷プロバイダーのソフトプルーフが必要な場合は、そのプロバイダーの **Web** サイトで **ICC** プリンター プロファイルを検索して、コンピューターにダウンロードしてインストールします。

モバイル/タブレットで画像の外観をプレビューするには、プリインストールされたプロファイルを選択して、最適な条件下でどのように表示されるかを把握します。

「フォルダーを追加」または「ファイルを追加」をクリックして、**.tiff** または **.jpeg** 画像をソフトプルーフリストに追加します。**[シミュレーションするデバイス]** ドロップダウンからプロファイルを選択します。プレビュー領域は、選択したプロファイルを使用して、ソフトプルーフリストから選択した画像をシミュレートします。



プレビューをオンまたはオフにして、シミュレーションをオンまたはオフにします。画像の外観は、レンダリングインテントに基づいています。レンダリングインテントは、色域外の情報がシミュレートされる紙またはデバイスに変換される方法です。

色域警告は、シミュレートしている用紙またはデバイスの色域外の画像の部分を示します。

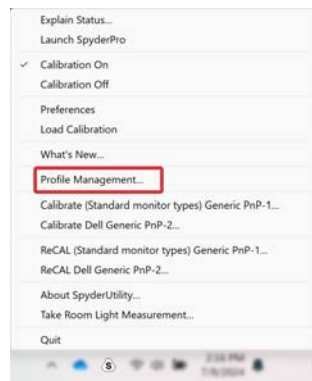
Spyder ユーティリティ

プロファイル管理ツール

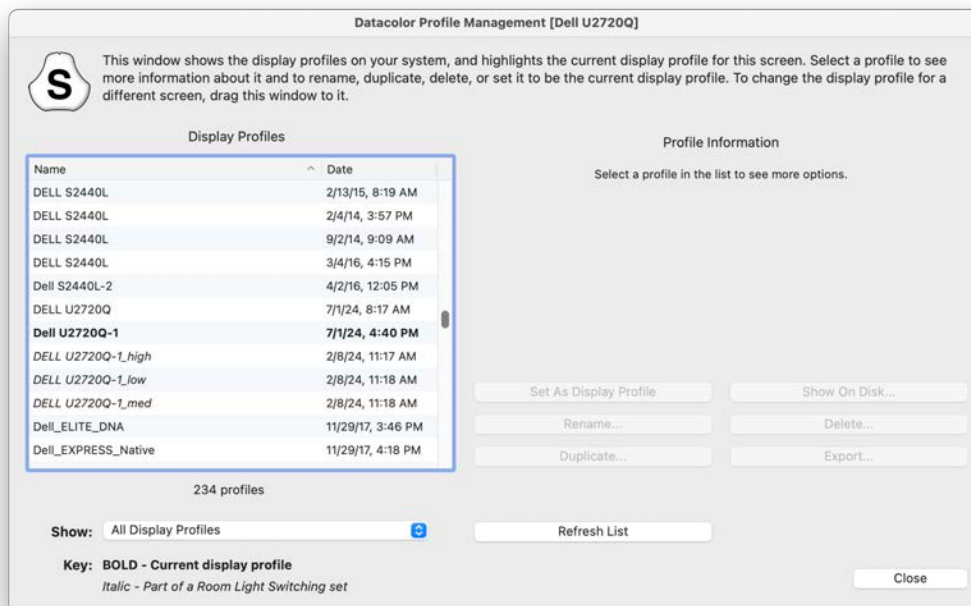
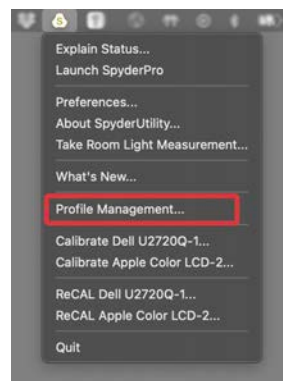
既存のプロファイルのオフ、切り替え、削除、名前変更を可能にするこのツールを使用すると、モニタープロファイルの柔軟性と制御を完全に行うことができます。

メニューバー/システムトレイの SpyderUtility アイコンをクリックし、**[Profile Management]**をクリックします。

Windows



Mac



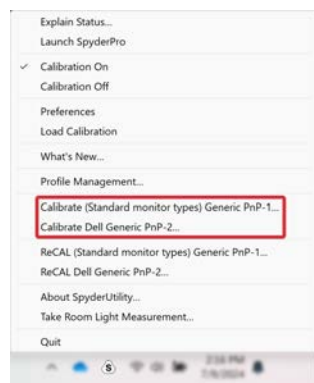
リスト内の太字のプロファイルは、現在の表示プロファイルです。

プロファイル管理ウィンドウを別のディスプレイに手動で移動して、そのディスプレイのプロファイルを操作します。

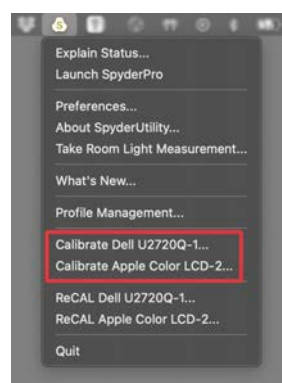
1-クリックキャリブレーション

再校正は、「1 クリック校正方法」を使用して実行することもできます。メニューバー/システムトレイの **SpyderUtility** アイコンをクリックします。次に、キャリブレーションするモニターを選択します。通常どおりキャリブレーションプロセスを完了します。**1-Click Calibration** は、前回のキャリブレーションのキャリブレーション設定を使用します。

Windows



Mac



****Note:** 1-Click キャリブレーションは、ソフトウェアで完全なキャリブレーションを完了した後にのみモニターで使用できます。

Appendix

Support

よくある質問への回答や追加サポートについては、データカラーは追加料金なしでテクニカルサポートを提供しています。ご不明な点がございましたら、サポートサイトをご覧ください。

spyder-support.datacolor.com